

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	内藤
	全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	12178 親子通園事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	12020900 子育て環境の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030207 民生費・児童福祉費・親子通園施設費										
	事業	020000 親子通園事業										
事業目的						事業概要・効果						
心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童が、保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させる。また、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行い、総合的に児童の育成支援を図る。						心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い育成を促すことができた。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
機能訓練、生活指導、保護者支援	機能訓練、生活指導、保護者支援
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		5,878	4,167
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,878	4,167
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	1.1	0.4
	臨時職員	0.9	0.9
人員コスト	正規職員	2,090.4	2,090.4
	嘱託職員	3,463.9	1,259.6
	臨時職員	1,510.2	1,510.2
	計	7,064.5	4,860.2
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		12,942.5	9,027.2

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	90	音楽療法士謝礼90
10節 需用費	92	消耗品86、食糧費3、医療材料費3
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,696	嘱託医報酬17、会計年度任用職員報酬1,785、給料2,543、手当530、共済費764、旅費19、電話料38

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	120	音楽療法士謝礼120
10節 需用費	104	消耗品81、食糧費10、賄材料10、医療材料費3
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,943	嘱託医報酬17、会計年度任用職員報酬146、給料2,562、手当等506、共済費662、旅費5、電話料42、郵便料3

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	様々なハンデを抱えた児童と保護者が孤立しないために必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	通園する児童及び保護者にとって唯一の施設であり、利用者アンケートからも高い評価を得ている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	通園する児童数は5名程度が最大であり、1名しか通園しない時期は効率が悪い。将来的には他施設への併設も検討すべき。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童への機能訓練及び生活指導を行い、児童の育成支援ができた。保護者にとっても、相談支援や情報交換の場となっている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
心身に障がいのある児童の機能訓練や保護者に対する生活指導等を行い、児童の育成支援を図ることができた。		心身に障がいのある児童の機能訓練や保護者に対する生活指導等を行い、児童の育成支援を図ることができた。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	